（様式１）

校　種	小　・　(中)	学校番号	２	学校名	宇都宮市立陽北中学校

令和８年度　学校経営計画

１　教育目標

（１）基本目標

- 自ら考え、主体的に学ぶ生徒
- 活気に満ちた、たくましい生徒
- 心豊かで、思いやりのある生徒

（２）具体目標（具体的な児童生徒像など）

校訓「聡く　強く　美しく　そして、陽北中生としての誇りをもつ」を体現できる生徒

２　学校経営の理念

社会に貢献できる人間を育成するため、生徒一人一人の自らの良さや身に付けた力に気付かせ、自己有用感を高め学校を楽しく居がいのある場としたい。そして、それらを伸ばしていく指導をもとに、確かな学び、豊かな心、健やかな体を育む教育活動の充実を図る。さらに、人とのつながりの中で互いに支え合い、人に役立つことの意義が理解できる生徒を育成する。

本校の古き良き伝統と校風を守り発展させ、保護者や地域の信頼と期待に応えるとともに、生徒及び教職員が陽北中学校に学ぶことを誇りに感じる学校づくりを目指す。

３　学校経営の方針

これからの社会をたくましく生きる力を身に付け、心身ともに健康でコミュニケーション豊かな知・徳・体の調和の取れた生徒の育成を目指し、以下の学校経営方針を軸とする。

（１）校訓を体現できる生徒の育成を目指し、本校の特色を生かしたカリキュラムマネジメントを行うことに努め、教育活動の工夫及び保護者・地域との連携により、特色ある教育活動を推進する。

（２）学習指導において、教師間で授業を見せ合い、授業実践を通した指導力の向上に努め、わかる授業を展開する。また、教材やＩＣＴを効果的に活用しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の工夫・改善を図る。

（３）生徒の自主的・自治的に活動できる場面を積極的に取り入れ、安心して考えを伝え合い、互いに高め合える学級集団の育成に努め、一人一人の個性の伸長を図るとともに、協働して課題に取り組む態度を養う。

（４）道徳教育において、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的、多角的に考え、自己の生き方や人間としての生き方について考えを深めることができるよう道徳の時間の充実を図り、すべての教育活動をとおして道徳的実践力の育成に努める。

（５）生徒指導において、生徒一人一人の人格を尊重し、生徒を認め・ほめることの実践を通して生徒の自己有用感を高め、望ましい行動への意欲付けを図るとともに、豊かな心を育む教育を推進する。

（６）すべての教育活動に、特別支援教育や教育相談の考え方を生かし、一人一人の生徒の内面や能力・環境等の的確な理解の上に、その教育的ニーズに応える教育の実践に努める。

（７）生涯にわたって健康で安全な潤いのある生活が送れるよう、健康教育と安全教育の充実を図り、強い体力・気力を推進するとともに教育環境及び危機管理体制の整備に努める。
（８）地域学校園及び地域と連携し、小中一貫教育や「地域とともにある学校」づくりを推進し、人間性や社会性豊かで広い視野に立つ生徒を育成する。
（９）業務量管理・健康確保措置の実施のため、校内業務の精選化・効率化により生徒と向き合う時間を確保し、ワークライフバランスを考えた勤務時間により時間外勤務時間を削減し、健康で意欲的に勤務できるよう働き方改革を推進していく。
(10)「教職員評価制度」や「学校マネジメントシステム」、「魅力ある学校づくり地域協議会」等を有効に活用しながら、学校と家庭・地域との連携・協力を深め、教職員一人一人が情熱をもち協働して指導する。

「陽北地域学校園教育ビジョン」
○「学びあい　認めあい　高めあう　陽北地域学校園」
～人と人との豊かなかかわりを通して～

４　教育課程編成の方針

（１）教育関係諸法規・法令や学習指導要領及び県、市の教育行政の方針等を踏まえる。
（２）どのように学び、どのような力を身に付けるのか等を明確にし「社会に開かれた教育課程」を目指す。
（３）小中一貫教育を推進し、地域学校園で連携した取組を家庭や地域に積極的に発信するなど地域とともにある学校づくりの一層の充実に努める。
（４）持続可能な社会の創り手となるよう、生徒が自分のよさや可能性に気づき自己肯定感を高めることができるよう工夫する。
（５）生徒の発達段階を考慮し、学習の基盤となる資質・能力や、現代的な諸課題に対応していくための資質・能力を育成することができるよう、教科等横断的な視点で、各教科等の関連付けを図りながら調和のとれた教育課程を編成する。

５　今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

（１）学校運営
・校訓を体現できるよう特色ある教育活動を推進する。
○地域と連携した諸活動の推進
（２）学習指導
○対話的で深い学びによる思考・判断・表現力の向上及び学習の基盤となる態度や学習習慣の育成。
（３）児童生徒指導
・一人一人の自己有用感を育てる生徒指導及び個性を尊重した個別支援の充実。
（４）健康（体力・保健・食・安全）（元気アップ教育に係る取組を含む）
○生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力の育成。

６　学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※　様式２～４参照

７　特色ある学校づくり等に関する取組

（１）　育てたい資質・能力
・主体的に考え表現できる力

・すすんで社会とかかわり行動する力
・自他の存在を尊重し協力する力
・礼節や規律を重んじ粘り強く努力できる力

（２）具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

①　魅力ある学校づくり地域協議会との協働

◇「陽北よさこい連」として地域の行事への参加
・地域とともにある学校づくりに向けた土曜授業の開催
・地域協議会委員と生徒が語り合う「陽北地域未来会議」の実施及び活動
◇放課後「ようほく地域未来塾」の拡充

②　特色ある学校行事

・規律と全力の「運動会」
◇豊かな表現力による感動の「文化祭・合唱コンクール」

③　日々の学校生活で大切にする活動

・笑顔のあいさつと清潔感のある身だしなみ
・体力の向上と美しい集団行動
・互いを尊重する優しさ
・宮っ子ダイアリーの活用と家庭学習（自主学習）の実施
・生徒会（各委員会・各部活動）による社会貢献活動
・部活動への積極的参加

④　教科等横断的な視点での授業の推進

・縦、横での関連を図り、生徒の学びを深める

⑤　読書活動の充実と学校図書館の活用

・学校図書館教育を中心とした教科等への図書活用
・みんなで一斉に行う「朝の読書」の実施

８　本市の重点施策・事業と関連する取組

（１）　地域とともにある学校づくり（魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む）

①　基本的考え

教育活動の情報発信や各種学力調査等の結果データの公表、学校公開・授業参観等を活用し、本校教育の成果や課題、生徒の実態等を正しく地域に理解してもらうことに努めるとともに、地域人材、事業所、文化・自然等を活用した教育活動を展開する。

②　主な取組

・学校ＨＰやさくら連絡網による各種たより等の情報発信
・保護者、地域参加型の学校公開（運動会、文化祭、土曜授業）

・魅力ある学校づくり地域協議会との協働(陽北よさこい連、教育講演会、陽北地域未来会議)
・地域行事への参加や学校園小学校との連携、のざわ特別支援学校との交流学習
・地域人材を活用したキャリア教育（１学年：働く人に学ぶ、２学年：宮っこチャレンジ）
・学校ボランティアの活用
・錦地区・東地区・豊郷地区まちづくり協議会との連携
・学区内主任児童委員・民生委員との連携

（２）　小中一貫教育・地域学校園

①　基本的考え

「学びあい　認めあい　高めあう　陽北地域学校園」のテーマのもと、義務教育９年間を見通した教育活動を推進するとともに、学校園各小中学校間の連携を密にし、児童生徒及び地域の実態や傾向を共有し、知・徳・体のバランスのとれた教育活動を展開し、将来地域に貢献できる児童生徒の育成を目指す。

②　主な取組

・学校園専門部会等の研修等の定期開催により、学校園教職員の資質向上を目指すとともに小中一貫教育における重点目標や役割を理解し、各学校にて実践する。
・一人職との連携・協働を密にし、各学校への支援と学校園児童・生徒の実態を把握する。
・児童生徒指導連絡会の機能を生かし、児童生徒指導の充実を図る。
・中１ギャップの解消に向けて、小中間の引継ぎを充実させるとともに中学校入学を成長のチャンスと捉え、意欲的な生活が送れるよう支援の充実を図る。
・生徒会による母校でのあいさつ運動を実施し、小中間の交流を充実させる。

（３）不登校対策

①　基本的考え

全ての生徒にとって居がいのある、温かい雰囲気の学級経営に努めるとともに、生徒及び保護者に対して組織的に支援する。また、ＳＣ・支援員等との連携により、必要に応じて別室登校の支援や関係諸機関との連携を図る。

②　主な取組

・学級担任を中心に全教職員で生徒に寄り添い、認め、ほめることの実践により、自己有用感を高める。
・ＷＥＢＱＵの結果や個別の教育相談を活用し、不登校の兆しの早期発見・早期対応に努める。
・　１人１台端末を有効に活用し、生徒の心の変化やＳＯＳを早期に捉えて寄り添う支援を行う。
・　生徒指導部会と教育相談部会により、生徒の状況について、校内で共通理解を図り組

織的に対応する。

・　生徒の状況に合わせて、校内教育支援センターを利用した別室登校支援を行うとともに、市の教育センターをはじめとする各種関係機関と連携し、一人一人の状況に応じた迅速な対応に努める。

（４）ＧＩＧＡスクール構想

①　基本的な考え

GIGA スクール構想を推進し、一人一台端末等のＩＣＴを活用することを通して、個別最適化な学びや創造性を育む学びの実現と学校業務改善を目指した学校 DX を見据えた取組を実現する。

②　主な取組

・協働学習ツールを活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めるとともに、AI ドリルの積極的活用による学びを深める指導を充実させる。

・不登校生徒支援や特別支援教育等、個に応じた多様で適切な ICT の活用を図る。

・デジタル・シティズンシップを育む情報モラル教育を推進する。

・ICT 支援員の効果的な活用を図り、教職員の指導力の向上や業務改善を目指す。

（５）宇都宮学

①　基本的な考え

陽北地区を始め宇都宮の歴史や伝統文化についての理解を通して、宇都宮の良さや特徴に気づき、郷土への愛情や誇りに思う態度を養うとともに、郷土の未来について進んで考えていこうとする態度を養う。

②　主な取組

・各教科等との関連を図ったカリキュラム・マネジメントを行うよう努め、学習効果を高める。

・地域学校園における連携をさらに深め、地域の人材や資源を有効に活用した教育活動を充実させる。

・宇都宮学で学んだことをもとに、地域に貢献できる活動や、地域へ発信する活動につなげ、地域課題を解決する力を育成する。